第１・２学年　算数科学習指導案

平成18年２月22日(水)　第５校時

指導者　教諭　山中　尚

１　単元名　１年「かんがえてみよう」（本時３／４）

７　本時案　（第１次　３／４）

（1）主　眼　　具体物の操作や図を使って考えることを通して、筋道立てた考え方で加法・減法を適用する文章題を解くことができる。

（2）準　備　　ブロック、おはじき、テープ、ヒントカード、練習問題プリント

（3）学習課程

前時の学習	具体的な操作や図を手　がかりにして、問題を解決する。	
	教師・学習リーダーの働きかけ	学習活動・内容
つかむ	○課題を読んで、ノートに写しましょう。	１ 問題文を読み解決への見通しを立てる。
	こどもが　１５にん　ならんでいます。まやさんは、まえから　８ばんめです。 まやさんの　うしろに　なんにんいますか。	
	Ｌ：分かっていることに線を引き、知りたいことを○で囲んでみましょう。	・こどもが１５にん ・まやさんは、まえから８ばんめ ・うしろに　なんにん　いますか
／ かんがえる	○まやさんの場所に印をつけてから考えてみましょう。 ・ブロックやおはじきを操作をすることで、順序数を集合数に置き換えて考えられるようにする。 ・操作したブロックを図で表してみる。	２　問題の解き方を考えノートにまとめる ・まやの位置 ○○○○○○○●　○○○○○○○ ・まやまでの人数　８人 ・うしろの人数　１５－８＝７(人) ・ ○○○○○○○○ ○○○○○○○ ８人　うしろ １５にん
	評価ア（観察） ・集合数の求残の求め方と同じになることをおさえる。 評価イ（発表）	３　解き方を説明する。 ・１５－８＝７
／ つなぎあう	Ｌ：先生がいらっしゃるまでプリントの練習問題をやりましょう。 ・１問ごとに答え合わせをしながら問題を解かせる。	４　練習問題をする ・順序数を交えた補充問題 ・答え合わせ
	・プリントの答え合わせをもとに学習の進捗状況を確認する。 評価ウ（プリント・ノート）	５　本時の学習の確認をする。
次時の学習	練習問題をして順序数も集合数の計算と同じようにして求められることに慣れる	

（4）評　価

ア　(関)順序数を含む加法・減法を適用する文章題を、図や具体物を使って自力で解決しようとする。

イ　(考)図や具体物を使って筋道を立てた考え方で文章題を解くことができる。

ウ　(表)式や図で問題場面を表すことができ、計算によって解くことができる。

第１・２学年　算数科学習指導案

平成18年２月22日(水)　第５校時

指導者　教諭　山中　尚

１　単元名　２年「かんがえてみよう（２）」（本時３／６）

７　本時案　（第１次　３／６）

（1）主　眼　　具体物の操作や絵図、テープ図を活用して答えを求めることを通して、加法的な思考の流れの中にも減法を用いて答えを求める場合があることに気づく。

（2）準　備　　ブロック、おはじき、テープ、ヒントカード、練習問題プリント

（3）学習課程

前時の学習	減法の思考の中で答えを求めるために、加法を用いる場合があることに気づく。	
	学習活動・内容	教師の働きかけ・学習リーダーの指示
つかむ	１　本時の課題をノートに視写し、分かっていることや知りたいことを確認する。	・学習リーダーによる進行を指示する。 Ｌ：課題を読んでノートに視写しましょう Ｌ：分かっていることに下線を引き、知りたいことを○で囲みましょう。
	きんぎょを　１２ひき　かっていました。なんびきか　もらったので　２０ぴきに　なりました。　もらったのは　なんびきですか。	
／ かんがえる	２　テープ図等を利用して考える。 ・具体物による操作 ・絵図　　20ぴき　もらった数 ○○○○○○○○○○○○○○○○○○○○ ・テープ図 １２ひき ｜ ？ひき ２０ぴき ２０ひき ｜ １２ひき ？ひき	○問題を絵や図に表してから式を考えて、答えを求めよう。 Ｌ：プリントに図を書いて問題を解きましょう。５分間でやりましょう。 評価ア・ウ（プリント）
／ つなぎあう	３　どの図を利用して答えを求めたかを説明し、求め方を理解する。 ・１２＋□＝２０ □＝２０－１２　□＝８ ・２０－１２＝　８ ・１２＋２０＝３２ ・１２　＋８＝２０	Ｌ：やめてください。同じ図をまとめながら黒板にプリントを貼りましょう。 ・問題をそのまま式にすると12＋□＝20となる。この□を求める式が20－12になることをテープ図から読み取らせる。 ・12+20で考える児童には、全部で何匹いるのかを確認させる。 評価イ（発表）
	４　教科書の練習問題を解く ・テープ図 ・式　　２５－７＝１８ ５　本時の学習の確認をする。	○はじめのすずめの数を求めるには、どんな計算をしたらいいだろうか。 ・練習問題の答え合わせを通して本時の学習内容を確認する。
次時の学習	加法逆減法のいろいろな問題を解く。	

（4）評　価

ア　(関)数量の関係をテープ図に表して、問題を解決しようとしている。

イ　(考)問題を図に表し、数量の関係をつかんで考えている。

ウ　(表)図の関係を式に表すことができる。